



# 令和4年5月30日 社会保障審議会 介護保険部会 提出資料

神奈川県知事 黒岩 祐治

# 未病に関するこれまでの議論

一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会 取りまとめ(令和元年12月13日)より

- 「健康・医療戦略」(平成26年7月22日閣議決定、平成29年2月17日一部変更)では、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉える「未病」の考え方が示されている。

介護予防についても、高齢者の心身の状態を自立、フレイル、要支援、要介護、またその状態が可変であるというように、連続的に捉え支援するという考えに立って行われるべきものである。

## 1. 成果を評価する指標

評価対象	評価項目	評価の観点
一般介護予防事業「利用者」	通いの場に参加する高齢者の状態の変化	<p>&lt;中長期的な課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>通いの場の効果等を評価する観点から、今後、<u>通いの場に参加する高齢者の状態（IADL等）の維持・改善状況を評価することを検討</u></li></ul> <p>※ まずは、<u>高齢者の状態を把握・分析する手法（基本チェックリスト、後期高齢者の質問票、日常生活動作(ADL)の指標(Barthel Index (BI)、Functional Independence Measure(FIM)等)、<u>東京大学飯島教授及びフレイル予防チーム開発のフレイルチェックシート、<b>神奈川県開発の未病指標</b>等）</u>について検討</u></p> <p>※ 分析に当たっては、<u>比較対照群（非参加者との比較）</u>が必要</p>

# 未病とは

健康

病気

健康

未病

病気

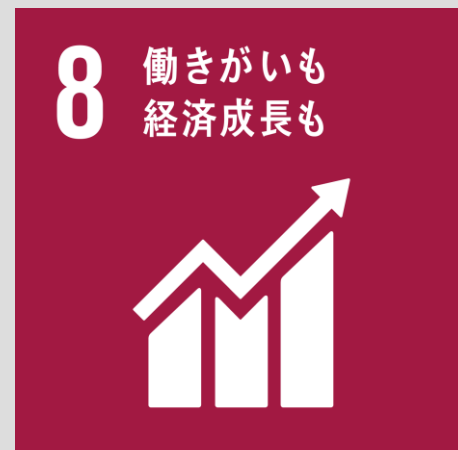
# 未病を改善する

## ■ 3つの取組



## 最先端医療・最新技術の追求

## 未病の改善



### 2つのアプローチを融合

健康長寿

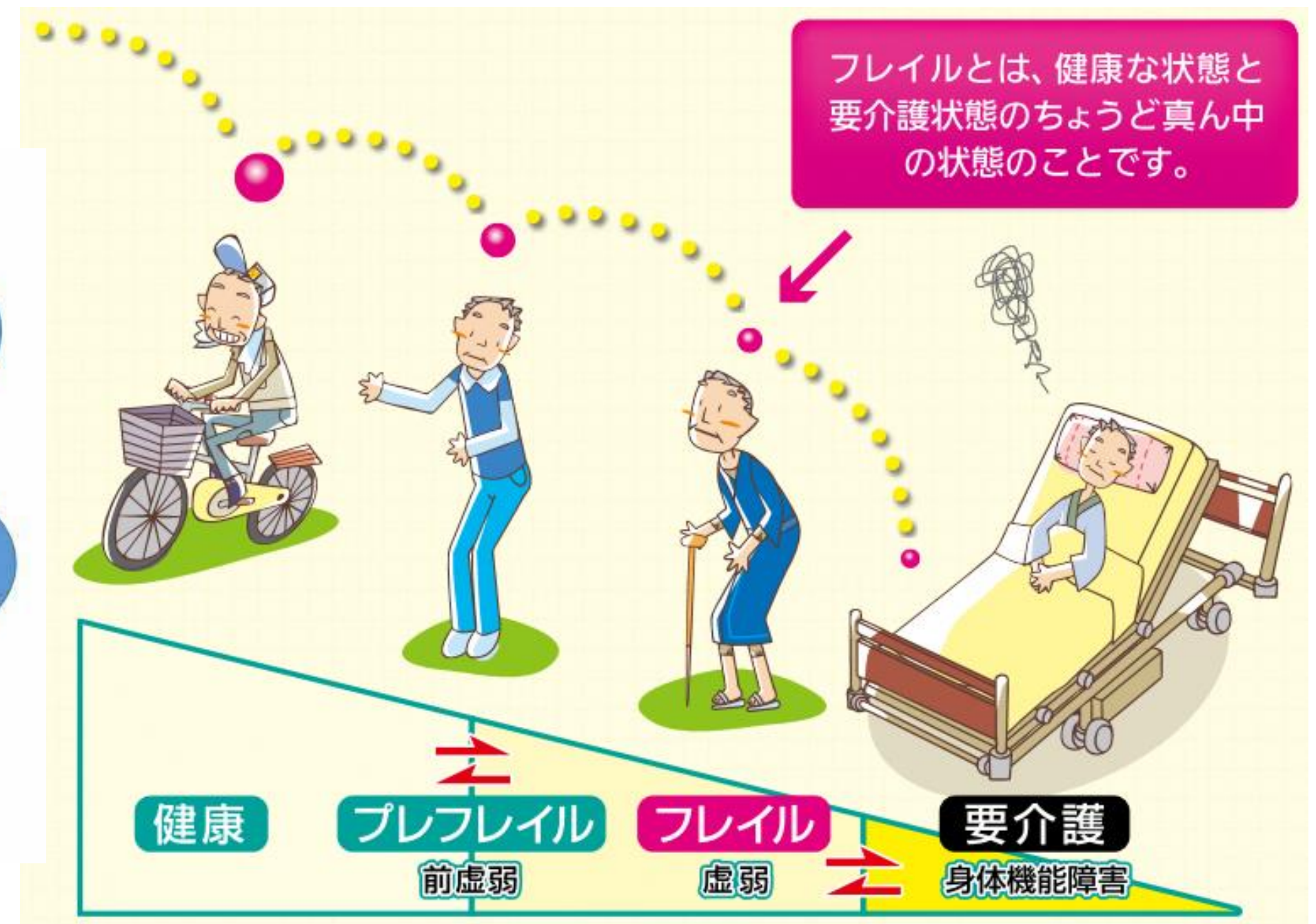
新たな市場・産業の創出

# フレイル対策に係る東京大学との連携

東京大学 高齢社会総合研究機構と覚書を締結(令和3年12月)

## 【連携・協力事項】

- (1) 未病産業研究会フレイル分科会を通じた企業間連携の促進に関すること
- (2) 企業におけるフレイル関連製品・サービスの開発等に資する知見の提供に関すること
- (3) 市町村におけるフレイルチェックプログラムの推進に関すること
- (4) フレイルチェックデータ等を活用した効果検証に関すること



(出典:東京大学高齢社会総合研究機構「フレイルを予防して健康寿命をのばしましょう」)

# 介護分野にも「ME-BYO（未病）コンセプト」を

介護を  
要しない

介護を  
要する



# 介護分野にも「ME-BYO（未病）コンセプト」を

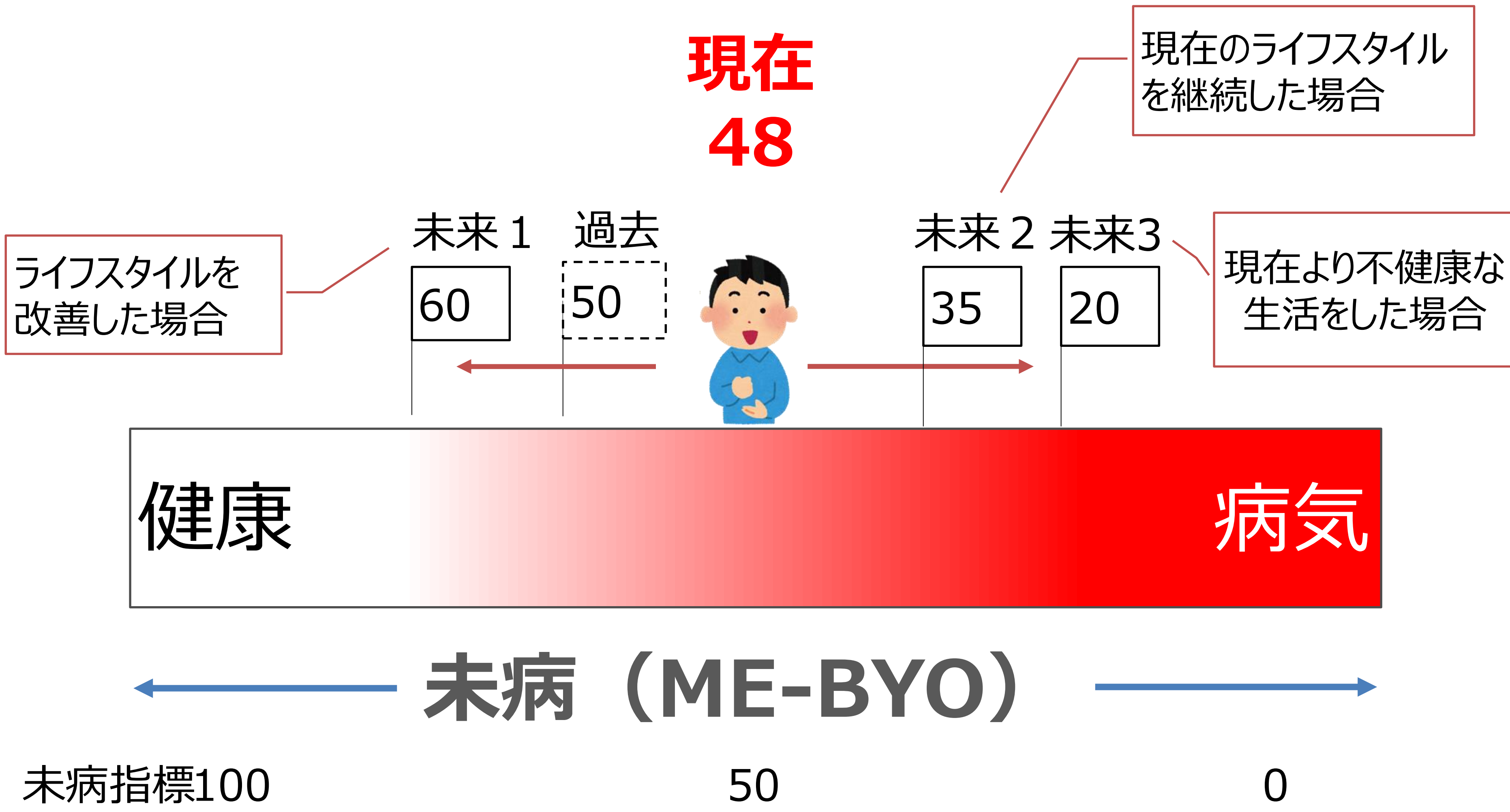
＜健康・医療戦略（令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更）＞

健康か病気かという二分論ではなく 健康と病気を連続的に捉える「未病」の考え方 やその取組を進めるための 指標の構築等が重要になる と考えられる。

介護を要する人、要しない人という 二分論 ではなく、介護を要する状態と介護を要しない状態を連続的に捉えることが重要

➡ ME-BYO（未病）の考え方そのもの

# 未病を「見える化」する未病指標 (ME-BYO INDEX)



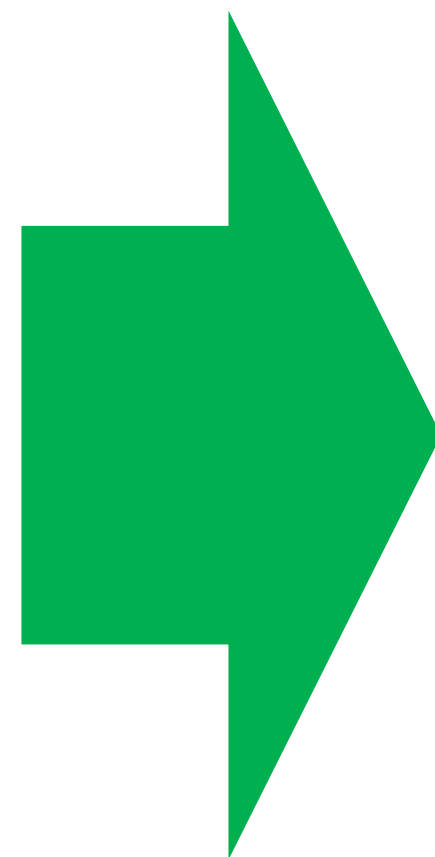
\* 未来予測機能は今後実装

# 未病指標の特長：スマートフォンでの測定

スマートフォンから、誰でも、どこでも、簡単に未病の状態を測定可能

## 入力

15項目	
性別	生活習慣領域
年齢	
BMI (身長・体重)	
血圧 (収縮期)	
	認知機能領域
Mini-Cog (3問)	
	生活機能領域
ロコモ5 (5問)	
歩行速度	
	メンタルヘルス・ストレス領域
音声 (MIMOSYS)	



## 結果

未病の数値が見える化



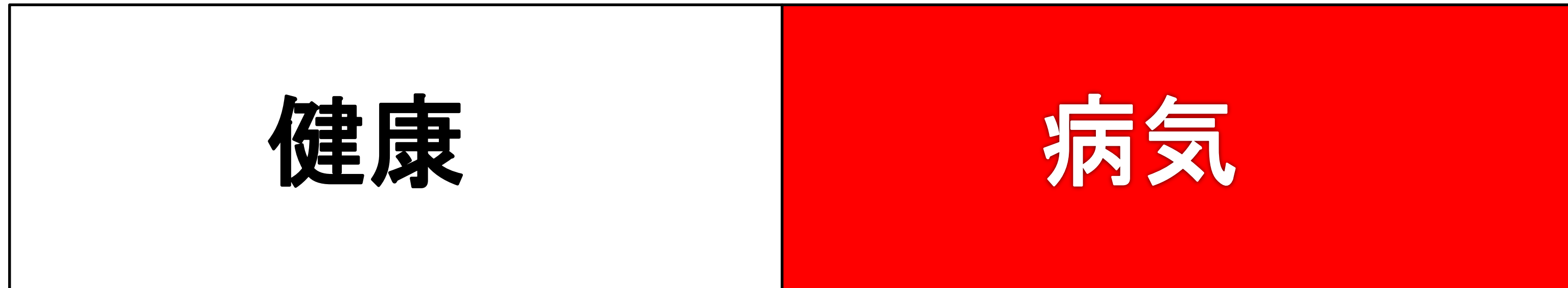
- ① どれだけ未病改善したのか未病指標で見える化し、  
高齢者の行動変容を促す
- ② 利用者の心身の状態を改善させた介護サービス事業者を  
介護報酬で評価する際のアウトカム指標として未病指標を  
活用

### 介護サービス事業所・施設での実施

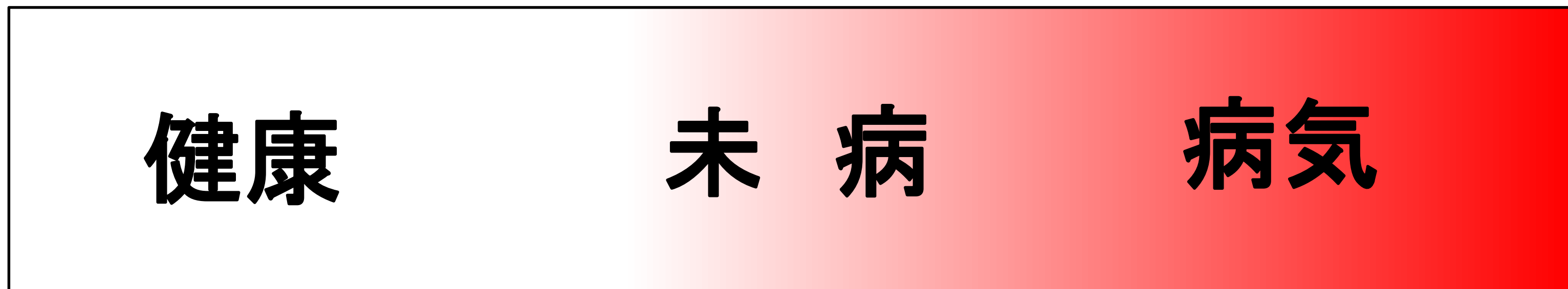
#### 【未病指標の測定を実施した事業所からの意見・感想】

- 現在の健康状態が可視化されるのは良いと思った。
- 自身の健康状態の把握が楽しみながらできた。
- 繰り返し時間をおいて測定して初めて継続的な効果が期待できると思った。
- 利用者の認知機能の状態について、職員の理解を深めることができた。

支援者目線



当事者目線



# 当事者目線の障がい福祉

# Vibrant “Inochi”

